

平成28年度技術委員会総括

平成28年度の提案として、①自己判断・責任に基づく登山（自己の技術・体力の認識）、②安全な登山計画（山行計画を話すためのミーティングの実施とそれによる登山計画の作成能力の養成）③初心者・初級者の技術講習の必要性、を挙げた。

今年度のすべての山行で、ミーティングを実施した上での計画書作成ができたであろうか。また、計画時に十分と思っていた山行計画でも実際には、ひやりとしたことはなかったであろうか。ミーティングを、毎回、積み重ねていくことによって、前回の山行の反省もできるし、リスクの評価をした上での計画作成能力を身に付けていく場になるので、楽勝と感じる山行でも続けて下さい。

初心者・初級者の技術講習としては、岳連の初級者向け研修会への参加を勧めた。また、新入会員の希望を聞いて随時技術講習を実施した。

但し、新入会員については、どんな技術を獲得したいかの意見を出してくれるので随時対応できていると思っているが、既存会員については、依然として、積極的意見が出てこない。各山行において、技術・知識・体力に、不足な面があったのならば、リーダーの責任として、安全登山のために指摘して欲しい。

今年度も、岳連や日本山岳会本会などの研修会への参加と、随時対応型の技術講習の2本立ての計画です。習得したい技術があれば、是非、年度初めに、技術委員に、希望を出してください。技術習得は、山行直前に、すぐできるものではありません（特に、雪山、岩登りなど一般登山道以外の登山形態）。ステップアップしていくものです。また、今年度は、岐阜支部の募集型研修会として、総会当日に、登山計画作成のための研修会と初級のロープワーク研修会を実施予定です（告知・募集済み）。

平成28年度実施研修会

- 3月～4月：クライミング研修（アクティブG：参加者3名（講師として1名）
- 5月：御在所初級岩登り研修：雨天のため伊木山で実施、3名参加
- 5月：岳連遭難対策講習会（登山研修所）：2名参加
- 9月：国立登山研修所安全登山指導者養成講習会：1名参加
- 10月：岳連遭難対策講習会（伊木山）：1名参加（講師として1名参加）
- 11月：岳連読図研修会（平成山）：2名参加（講師として指導員4名）
- 12月：岳連雪山講習会（西穂）：3名参加（講師として指導員4名）
- 2月：岳連雪山初級者講習会（高鷲）：3名参加（講師として指導員2名）
- 3月：日本山岳会本会雪山講習会：1名参加

随時対応講習

- 5月から11月：初心者ロープワーク講習：2回、各1名
- 11月：国立登山研修所伝達講習（セカンドレスキュー）：2名
- 1月から3月：各山行での雪山講習（ラペリング、雪洞など）：2名、3回